

幸手市立幸手小学校 学力保障グランドデザイン

幸手市の到達指針

- 【全国学調】
- 平均正答率
- 【埼玉県学調】
- 学習方略・非認知能力の平均値
- 学力が伸びた児童生徒の割合

本校の学力の現状と考察

現状	考察
①全国学調 (平均正答率) 国語も算数も課題がみられるが、特に応用問題への回答に課題がみられる。	特に算数の学力の伸びに課題がある。 二極化していること、下位の層が多いことが問題である。中・下位層が学習を高める授業が展開できていないことが考えられる。
②埼玉県学調 ・学習方略、非認知能力で県平均超え項目が少ない。 ・学力の伸び 特に算数に課題が多い。 小6の伸びが小さい。	ケアし合う環境が整い、支持的風土が醸成された学級では、児童の平均正答率が高く、学習方略や非認知能力も県平均を上回っていると考えられる。
③幸手市統一学力調査 (平均正答率) どの学年でも全国平均以上が少なく、学級のばらつきがあり、全国平均以上の学級もある。 中学年から全国未満が目立つようになってくる。	低学年でも全国平均以下の項目が多い。ひらがなやカタカナの読むことが不十分な児童もいて、平均を上げるには中・下位層を授業のターゲットとして教材・教具の支援ができる授業準備に時間をかけることが必要であると考えられる。

自立した学びの育成と温かな居場所のある学校をつくります

学校全体での取組



❖ 学力向上週間の設定

5月、7月、9月、11月、2月、3月の計6回を学力向上週間とし、朝の15分間を学習時間として担任や担任外がチームとなって指導し、家庭学習で個別最適な学びを充実させる。

❖ 日常的に端末の利活用を図る

チームスやミライシードを活用して、授業を補完する学びを家庭でも自主的に進める。使うソフト、使う場面、方法を吟味して整理し、共有化することで全職員の資質向上を図る。

❖ 学力向上のための検定の実施

市教委の取組と連動して「コバトン問題集」や「復習シート」に繰り返し取り組む。検定を行い、9割以上を達成するまで何度でも挑戦させる。

❖ 主体的な学びの育成

教科等の授業で課題に取り組むための資料を準備し、個に応じた資料、方法、ペースを大切に一人学びを育てる。

落ち着いた学級づくり



❖ 学びで聞き合う関係づくり

学習は一人学びを原則とし、解決に向けた方策として対話し協働する関係を育てることで落ち着いた学級を実現する。
また、何を学ぶか、どのように学ぶかを自分で選択したり対話的に学ぶ方略を活用したりして聞き合う関係を育てる。

❖ 規律ある態度の育成

一人学びをする際の約束事を徹底し、原則として離席はせずに個人で学んだり協働で学んだりする。声の大きさやタブレットの使い方、ノートの取り方などを授業で定着させる。
保護者には「よくわかる！幸手小」を配布・周知する。

❖ 誰一人取り残さない環境整備

誰一人取り残さない教室環境の整備に努め、ユニバーサルデザインの学習及び生活環境を整える。
話し方、聞き方、学び方、配慮の仕方など、教師が模範となって言語環境や生活環境を整える。

学びを深める授業づくり



❖ 令和の幸手スタンダード授業Ⅴの徹底

導入から終末までを見通して、授業展開を基本に沿った内容で実施できるよう、授業公開や研究協議を重ねて共通理解を図る。

❖ 主体的・対話的で深い学びを目指す

児童自ら対話を進め、学習課題に自分の力で取り組む授業を展開する。その終末段階で、問い、聞き合う中で学びを深める授業に挑戦する。

❖ 自己認知と深い学びの効果を高める

授業で学んだことを自分でまたは他者と振り返り、何を学んだか、どのように学んだか、他者との関わりで何を学んだか、等を振り返り、深い学習につなげる。

❖ 授業公開・研究協議で学び合う教職員

年間28回の研修と12回の授業公開・研究協議で一人一人の学びを深める授業を展開する指導力を高め合う。

学校間連携・家庭連携



❖ 小小連携・小中連携による非認知能力の育成

学びに向かう意欲や態度、学び方、学ぶ速さ、学びに必要な道具の使い方など、学力を支える能力を育成するため、幸手中学校区の小小連携・小中連携をととして、9年間を身とした非認知能力の育成に注力する。

❖ リーディングDX事業の取組

令和の日本型学校教育の実現を図るリーディングDX事業の取組を小小連携・小中連携により深める。中でも、主体的・対話的で深い学びの「深い」学びの実現を目指した研究・実践をおこなう。

❖ 土日等や長期休業中の取組

土日等の家庭学習に「探究的な課題」を出すなど、学校の授業と連動した家庭学習にする。家庭でも問いを発見し、自ら問い、探究する力を育成する。
夏休みなどの長期休業では、通常できない体験を通じた比較的長期にわたる探究を推奨し、体験型の学ぶ力を育成する。